

みなさん、11月1日は何の日か知っていますか？

11月1日は、「えん罪・JR浦和電車区事件」が発生した日です！！

「えん罪・JR浦和電車区事件」とは、2002年11月1日、JR東日本浦和電車区（基地再編により現在はさいたま運転区）の仲間7名が突然、事実無根の「強要罪」として不当に逮捕され、344日間の長期拘留を余儀なくされた事件です。

事件の発端は、職場で開催した組合の集会や議論です。Y君は、みんなで決めたことを守らず、JR東労組を敵視している組合幹部の指示でウソをつき続け、職場を混乱させました。先輩や同僚たちはY君に反省を促し、仲間から信頼された安全輸送を担える一人前の運転士として育てようとしていました。

しかし、Y君は反省することなく、自らJR東労組を脱退。そして、職場の仲間から信頼をなくし、自分の意思で会社を辞めていきました。

○当たり前の組合活動が強要罪に！！

逮捕後の取り調べで「JR東労組は内から壊れないから外から権力が介入するんだ」「労働組合が平和運動なんて生意気だ」「組織を半分にしてやる」と言われました。JR総連・JR東労組の弱体化が狙われた逮捕であることから「えん罪事件」であり、跳ね返すたかいを押し進めてきました。無実の7名（美世志会）と共に、当たり前の職場活動であることを裁判で訴えてきましたが、上告棄却、会社からは懲戒解雇という結果となりました。当時の浦和電車区の管理者は「何ら問題はなかった」と語っていたにも関わらず、公判が進むにつれ態度を変えていったのです。そして、裁判が全て終了していないのに推定無罪の原則を無視して2007年8月にたった1枚の紙きれで無実の労働者を解雇したのです。



↑ 美世志会の7名

○事件の本質は強要ではない！組織破壊である！

組織破壊である狙いを、組織はもとより内外に明らかにし、各地で真実を訴えてきました。この事件について各地で学習会の開催や、多くの街頭行動などにも参加し、支援の輪をつくり出して組織強化でその狙いを跳ね返してきました。事件から今年で20年を迎えますが、この事件について知らない若い世代が増えています。この事件の本質を多くの仲間へ訴え、あらゆる弾圧にも負けない組織を青年部からつくっていきましょう！

「えん罪・JR浦和電車区事件」から20年！
多くの仲間へこの事件を伝え、
当たり前のJR東労組運動を守り、押し進めていこう！！

